

科目名 (英)	音楽史	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	及川有正
	(ROCK & POP HISTORY)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間 I 部)						
教員の略歴	1981 年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてビチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内 容	21世紀はついに古今東西の音楽が気軽に聞ける時代に突入した。しかし自分の気に入った音楽とその周辺にリスニングはとどまっているのが現状のようだ。そこでここでは100年にもわたるポピュラー音楽の歴史を縦軸として、更に音楽に様々な刺激を与えてきたリズム(様々な国の)を横軸として、立体的にポピュラー音楽がどのように現在の音楽に影響を与えているのかを、音、映像、等を通して学生に経験してもらう。						
到達目標	you tube、サブスクリプションでの検索キーワードを増やし、自分のお気に入りの周辺だけでなく、音楽のもつ豊かな楽しさを味わえる基礎知識を持ってもらう。 コンサートスタッフには、自分の担当するアーティストの背景を理解するヒントを。プロミには自分の作る音楽に曲作りとアレンジに広がり。 この二つを見つけてもらうのがこの授業の目的。						
評価方法及び基準	授業内評価40% 定期試験 30% レポート提出 30% 前期、後期の終わりに、印象に残った音楽の小論文を書いてもらう。随時簡単なアンケートをとりながら、理解と興味を確認していく。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	プロテストソングとして歌われたヘイジードについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
2	／	講義	「You Raise Me Up」「Londonderry Air」「Danny Boy」を中心にそれぞれの音楽に物語や歴史があることを知る。	感想文、関連する楽曲を探す
3	／	講義	「朝日のあたる家」の伝承/口承からフォーク、ロックへの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
4	／	講義	フレンチポップスの影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
5	／	講義	ロック音楽の出発点としてのロックンロールの背景について説明を行い、特にリズム＆ブルース(R&B)という言葉について学ぶ。	感想文、関連する楽曲を探す
6	／	講義	ソウルの誕生について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
7	／	講義	ギターインストルメンタル/日本のエレキブームについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
8	／	講義	スキッフルとビートルズ誕生について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
9	／	講義	ビートルズの来通出とブリティッシュインヴェイジョンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
10	／	講義	ブリティッシュインヴェイジョンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
11	／	講義	フォークとフォークロックについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
12	／	講義	R&Rの死とサーフミュージック、ロックンロール英国上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
13	／	講義	ビートルズ上陸以前の日本のポップスについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
14	／	講義	ビートルズとブリティッシュビートについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
15	／	試験		
16	／	講義	ベンチャーズとビートルズの日本上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
17	／	講義	フォークソングとビートルズのアメリカ上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
18	／	講義	モータウン、アトランティックを中心に1960年代に開花したソウル・ミュージック・シーンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
19	／	講義	ウッドストックを中心に1960年代後半のアメリカを知る。	感想文、関連する楽曲を探す
20	／	講義	カレッジから発進したフォークと反抗の証としてのフォークについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
21	／	講義	ビートルズ、サイモン＆ガーファングルの解散、ジミヘンドリックス、ジェニース・ジョプリンの死以降の数々のロックについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
22	／	講義	プログレッシブ・ロック 70年代の作品を中心に他ジャンルをクロスオーバーさせた音楽手段について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
23	／	講義	日本のロック誕生(1)輸入音楽であったロックを日本独特の解釈で創作した初期作品について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
24	／	講義	日本のロック誕生(2)日本語ロック論争について考え、誕生した日本語ロックのノウハウが現代にもたらした影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
25	／	講義	ファンクとソウルのディスコ化、その波が白人音楽へもたらした影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
26	／	講義	アダルト指向を強めた時代背景とジャズ界とコラボレーションを始めたロックの時代背景について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
27	／	講義	グラムの特徴となった、男性の化粧、両性具有的イメージ、虚構性、耽美性などの広がりについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
28	／	講義	テクノポップの誕生 電子楽器の変化を中心にプログレからテクノへの変化について学ぶ。	感想文、関連する楽曲を探す
29	／	講義	ヒップホップが生まれた社会背景、現代のR&B、ゴスペルなど黒人音楽までの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
30	／	試験		
準備学習 時間外学習			授業内で取り上げた楽曲、アーティストに関連するものを探る	
【使用教科書・教材・参考書】 ロック＆ポップス史 洋楽編、邦楽編、CD、DVD				

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤淳
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年 水曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエイターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 (1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2)PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。 (3)Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	ITリテラシーとPCの基礎知識を学ぶ	ITリテラシー理解度テストを行う
2	／	演習	【PowerPoint】PPの基本仕様、Word、Excelとの互換性を学ぶ	自分の好きなタレントを紹介するPP資料を3ページ以内で作成する
3	／	演習	【PowerPoint】プロフィールシート作りを行う	自分のプロフィールシートを完成させる
4	／	演習	【PowerPoint】プレゼン資料作りを行う	資料の完成をさせる
5	／	演習	【PowerPoint】プレゼン資料発表を行う	一年間の総復習を各自、漏らさずすること
6	／	演習	【Excel】罫線について、表の作り方を理解する。タイムテーブル縦作成する	表の構成方法を様々なパターンで考えてくる
7	／	演習	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸が作成出来るようになる	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
8	／	演習	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる	授業内課題を45分以内で作成できるように練習する
9	／	演習	【Excel】表と計算式／動員集計表が作成出来るようになる	計算式の基本概念を復習し、自分で幾つか試して覚える
10	／	演習	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる	数式の公式の構成の仕組みを自分で試しながら理解してくる
11	／	演習	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習
12	／	演習	【Excel】表と計算式／テストの平均点を理解し、作成出来るようになる	授業内課題を45分以内で作成できるように練習
13	／	演習	【Excel】表と計算式／予算表を作成出来るようになる	様々な数式の種類と構成を調べ、まとめてくる
14	／	演習	【Excel】図形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる	自分の家の部屋を使って、図面を作成する
15	／	演習	【Office】これまで学習したスキルをもって、新たな作品を製作する	
16	／	演習	【Illustrator】オブジェクトを使ったイラスト／ベジェ曲線の使い方を学ぶ	ベジェ曲線を使って、指定されたイラストを描いてくること
17	／	演習	【Illustrator】ロゴマーク作成／文字のアウトライン化、クリッピングマスクの使い方を学ぶ	指定されたロゴマークを、トレースしてくる
18	／	演習	【Photoshop】画像解像度、保存形式を学ぶ	人物を被写体とした写真を高解像度で数点撮影してくる
19	／	演習	【Photoshop】色調補正、カラーモード、レタッチの使い方を学ぶ	風景写真を撮り、覚えた技術で美しい作品を作る
20	／	演習	【Photoshop】切り抜きと合成の使い方を学ぶ	単色背景の前で撮影をしたものを使い、高度な合成作品を作る
21	／	演習	【Premiere】基本的な概念を習得する	動画編集の基本概念を復習し、自分で幾つか試して覚える
22	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通してレイヤー・タイトル・波形の使い方を習得する	動画編集の基本概念を復習し、自分で幾つか試して覚える
23	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通して文字エフェクト・Fadeの使い方を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
24	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通して画像・動画の挿入を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
25	／	演習	【Premiere他】Illustrator・photoshopとの連携を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
26	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通してレンダリングを習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
27	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通して書き出し・仕上げを習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
28	／	演習	【Premiere】動画素材の撮影・デバイスから動画の取り込み・QT録画を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
29	／	演習	【Premiere】動画作成を課題に複数カメラからの編集を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
30	／	試験	【Premiere】これまで学習したスキルをもって、新たな作品を製作する	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
必要に応じてプリント配布				

科目名 (英)	著作権	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	及川有正
	(MUSIC COPYRIGHT)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてピチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	作側 スタッフ共通のエンターテインメントの基盤にある著作権＝アーティストの権利を理解してもらう。また日々変化している状況を踏まえ、ネット中心のビビッドな話題を通して、著作権の理解を深める。各専攻によって立場の違いはあるが、どのように著作権の知識が役立つかを具体的に示す。						
到達目標	アーティスト(作曲、ダンス、アクター、プロミ)には、自分達の権利と制作していく上での注意事項を理解してもらう。コンスタには、自分の関わる仕事の根本にある出演者側の権利を理解してもらう。ネットのリテラシーを高める。(使う側の注意事項、ネットでの権利の理解) また音楽関係のトピックを正しく理解できるよう解説していく。最終的に自分たちが、アーティストとして契約する際の知識を身につけてもらう。						
評価方法と基準	① 試験 50% ② 用語プリント レポート 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	なぜ著作権の知識が必要かを学ぶ	教科書第1章を予習・復習する
2	／	演習	知的財産権についてを学ぶ	教科書第2章を予習・復習する
3	／	演習	アーティストの創作活動 DVDについて学ぶ	教科書第3章を予習・復習する
4	／	演習	音楽の置かれている現状を学ぶ	教科書第4章を予習・復習する
5	／	演習	著作権法を学ぶ	教科書第5章を予習・復習する
6	／	演習	著作物と著作権の関係について学ぶ	教科書第6章を予習・復習する
7	／	演習	著作隣接権について学ぶ	教科書第7章を予習・復習する
8	／	演習	著作権条約を学ぶ	教科書第8章を予習・復習する
9	／	演習	WIPO新条約条約を学ぶ	教科書第9章を予習・復習する
10	／	演習	著作権管理について学ぶ	教科書第10章を予習・復習する
11	／	演習	音楽著作権協会を学ぶ①	教科書第11章を予習・復習する
12	／	演習	音楽著作権協会を学ぶ②	教科書第12章を予習・復習する
13	／	演習	音楽著作物の利用形態 ポカロPの新しい著作権について学ぶ	教科書第13章を予習・復習する
14	／	演習	音楽著作物の利用形態 ネットでの著作権について学ぶ	教科書第14章を予習・復習する
15	／	演習	音楽著作物の利用形態 様々な音源を聴く	教科書第15章を予習・復習する
16	／	演習	まとめ 試験	
17	／	演習	著作権侵害について学ぶ	教科書第16章を予習・復習する
18	／	演習	音楽出版社について学ぶ	教科書第17章を予習・復習する
19	／	演習	著作う果の制限について学ぶ	教科書第18章を予習・復習する
20	／	演習	著作権・著作隣接権について学ぶ	教科書第19章を予習・復習する
21	／	演習	音楽著作物の委嘱について学ぶ	教科書第20章を予習・復習する
22	／	演習	学生と音楽著作権について学ぶ	教科書第21章を予習・復習する
23	／	演習	音楽著作権判例について学ぶ	教科書第22章を予習・復習する
24	／	演習	音楽業界の新しい動きについて学ぶ	教科書全体を読み返し復習する
25	／	演習	アーティストとスタッフについて学ぶ	教科書全体を読み返し復習する
26	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
27	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
28	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
29	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
30	／	試験	まとめ 試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 音楽著作権、ORIGINAL CONFIDENCE				

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	今藤雅博
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動。						
授業の学習内 容	リズム打ち 視唱 聴音						
到達目標	音程、リズム、メロディーを声に出して読み取れる ハ長調の旋律聴音ができる						
評価方法と基準	1) 定期試験60% 2) 授業内評価20% 3) 授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	オリエンテーション～楽譜の読み書きを聴き取り、譜面におこす	楽譜の読み方、書き方を復習する
2	／	演習	3度までの音程、四分音符中心を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
3	／	演習	3度までの音程、全音符、二分音符を聴き取り、譜面におこす	休符に注意し復習する
4	／	演習	3度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	休符に注意しながら音程をとり復習する
5	／	演習	4度までの音程で聴音 八分音符を聴き取り、譜面におこす	4度音程を感じ取り復習する
6	／	演習	4度5度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	5度音程を感じ取り復習する 八分音符導入
7	／	演習	5度6度までの音程で聴音付点リズムを聴き取り、譜面におこす	6度音程を感じ取り復習する 八分休符
8	／	演習	6度7度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	7度音程を感じ取り復習する
9	／	演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	オクターヴ跳躍を復習する 付点リズム導入
10	／	演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
11	／	試験	テスト	これまでの総復習をする
12	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音程、休符を正しく把握するし復習する
13	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	付点リズムの休符を復習する
14	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音が切れるのか伸びるのか意識し復習する
15	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	ハ長調以外の長調を復習する
16	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	3音符を復習する
17	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	16分音符を復習する
18	／	演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
19	／	演習	短調導入を聴き取り、譜面におこす	3種類の短調を復習する
20	／	演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	変化する音を覚える
21	／	演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	6,7番目の音に注意を復習する
22	／	演習	変化音導入を聴き取り、譜面におこす	変化音のとらえかたを復習する
23	／	演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	調性外の音を感じ取りを復習する
24	／	演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	半音変化を意識し復習する
25	／	演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	経過的変化と刻繃的变化を復習する
26	／	演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	これまでの内容を整理を復習する
27	／	演習	2声課題を聴き取り、譜面におこす	ハ音記号 を復習する
28	／	演習	聴き取り方について学ぶ	短い課題を復習する
29	／	演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
30	／	試験	テスト	これまでの総復習をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材、プリント配布、五線紙、筆記用具				

科目名 (英)	楽器知識 (Musical instrument)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	黒瀬寛幸
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1999年からベースプレイヤーとして活動し、ティーナカリナなどのサポートやセッション、ベースマガジンへの寄稿でも知られている。						
授業の学習内容	ロック・POPSの制作現場に於いて最もメジャーな楽器であるドラム・ギター・ベースを取り上げ、基本構造・音色・役割・セッティングの方法・基本の演奏法・メンテナンス・トラブルシューティングについてを実際に楽器を触りながら学ぶ。						
到達目標	音楽エンタテインメント業界人として様々な楽器の視点から会話が出来、基本的な演奏法や音色の特徴を理解し、より良い音楽を構築する為の知識を得る。専門用語を理解し使いこなせるようになる。						
評価方法と基準	定期試験 70%、試験 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	オリエンテーション 授業内容の説明 授業の注意点、音の3要素・楽器の種類・楽器の特徴 その1・楽器の名称を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、設備や楽器に触れてみる。
2	／	演習	楽器の特徴 及び Drums の基礎知識 楽器の特徴 その 2・Drums の 基礎知識 について学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
3	／	演習	Drums 太鼓の構造 名称・Drumsの構造 名称・組立方を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
4	／	演習	Drums B D の 構造 特徴 についての 講義 B D について 組み立て (Pedal 含む) の 講義 実技を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
5	／	演習	Drums S D の 構造 特徴 についての 講義 S D Stand の 構造 及び 組立方 についての 講義 実技を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
6	／	演習	Drums H H ・ H H Cymbal についての 講義 H H クラッチ について H H クラッチの組立方 についての 講義 実 技 を 学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
7	／	演習	Drums H H Stand 組立方 についての 講義 実技を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
8	／	演習	Drums D r 3 点 B D ・ S D ・ H H 3 点 の セッティング 演奏時の注意点 についての 講義 F T についての 講義 及び F T 組立方の 講義 実技を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
9	／	演習	Drums T T についての 講義 T T の 組立方 (取り付け方) の 講義 実技を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
10	／	演習	Drums Cymbal についての 講義Cymbal Stand の 組立方の 講義 実技を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
11	／	演習	Drums D r 基本セット セッティング 基本的なチューニング・演奏法を学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
12	／	演習	Drums ドラムに使用する基本的なマイクセッティングを学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
13	／	演習	Drums ヘッドの張替え、メンテナンス方法、ステージでのトラブルシューティングを学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
14	／	演習	Drums テストの傾向と対策を行う	リハーサルスタジオを利用し、ドラムセットを使用して復習する。
15	／	演習	筆記テスト及びドラムセッティング実技	
16	／	演習	Bass エレキベースの構造及び基礎知識 チューニング・ピックアップの音色及び特徴を学ぶ。	リハーサルスタジオを利用し、ベースを使用して復習する。
17	／	演習	Bass ベースアンプの基礎知識 コンボタイプ・スタックタイプ・ラックタイプを学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ベースを使用して復習する。
18	／	演習	Bass エフェクターの基礎知識 フィルター・ブリアンプ・コンプレッサー	リハーサルスタジオを利用し、ベースを使用して復習する。
19	／	演習	Bass エレキベースの基本セット セッティング 基本的な演奏法	リハーサルスタジオを利用し、ベースを使用して復習する。
20	／	演習	Bass 弦交換、メンテナンス方法、ステージでのトラブルシューティングを学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ベースを使用して復習する。
21	／	演習	Bass テストの傾向と対策を行う	リハーサルスタジオを利用し、ベースを使用して復習する。
22	／	試験	筆記テスト及びベースセッティング実技	
23	／	演習	Guitar エレキギターの構造及び基礎知識 チューニング・ピックアップの音色及び特徴	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
24	／	演習	Guitar ギターアンプの基礎知識 トランジスタアンプ・チューブアンプ・デジタルアンプ クリーン・クランチ・リードチャンネル	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
25	／	演習	Guitar エフェクターの基礎知識① オーバードライブ・ディレイ・コーラス	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
26	／	演習	Guitar エフェクターの基礎知識② ワウ・アンブシュミレーター	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
27	／	演習	Guitar エレキギターの基本セット セッティング 基本的な演奏法	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
28	／	演習	Guitar 弦交換、メンテナンス方法、ステージでのトラブルシューティングを学ぶ	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
29	／	演習	Guitar テストの傾向と対策を行う	リハーサルスタジオを利用し、ギターを使用して復習する。
30	／	試験	筆記テスト及びギターセッティング実技	
準備学習 時間外学習			授業で学んだものを実習に活用できるように整理する	
【使用教科書・教材・参考書】 都度配布 (コンサート制作資料)				

科目名 (英)	音楽理論 1 (Music thory 1)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	今藤雅博
	学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動。						
授業の学習内 容	五線譜の基本的なルール 音程 調号 コード導入						
到達目標	音程を正確に理解できる 調号を覚える						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 授業内評価20% 3) 授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	オリエンテーション 楽譜の仕組みを学ぶ	iPadテキストを読み込む
2	／	演習	半音と全音 メジャースケールを学ぶ	半音と全音について鍵盤を用いて確認する
3	／	演習	音程を学ぶ① 変化記号	長短音程の学習、変化記号の確認する
4	／	演習	音程を学ぶ②	テキストの音程について読んでおく
5	／	演習	音程を学ぶ③	完全音程の学習する
6	／	演習	音程を学ぶ④	音程のまとめをする
7	／	演習	調号を学ぶ①	#系の覚え方を学習する
8	／	演習	調号を学ぶ②	♭系の覚え方を学習する
9	／	演習	調号を学ぶ③	マイナーキーでも分かるようにする
10	／	演習	調号を学ぶ④	調号のまとめを復習する
11	／	演習	テスト	これまでの内容を復習
12	／	演習	コードを学ぶ	トライアドの構成を理解する
13	／	演習	コードトーンを学ぶ	トライアドのコードトーンを理解する
14	／	演習	7thコードを学ぶ①	M7th 7thの違い、4音和音の導入をする
15	／	演習	7thコードを学ぶ②	使用頻度の高い種類から学習する
16	／	演習	7thコードを学ぶ③	7thコードのコードトーンを理解する
17	／	演習	ダイアトニックコードを学ぶ①	音階との関連を意識する
18	／	演習	ダイアトニックコードを学ぶ②	各コードの役割を覚える
19	／	演習	ダイアトニックコードを学ぶ③	各コードの役割を覚える
20	／	演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ①	メジャーダイアトニックの復習も行う
21	／	演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ②	マイナーダイアトニックコードの学習する
22	／	演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ③	Hm Mm のコード機能を復習する
23	／	演習	テスト	これまでの内容を復習する
24	／	演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ①	ノンダイアトニックコードを学習する
25	／	演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ②	セカンダリードミナントの解決について復習する
26	／	演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ③	マイナーキーで考える
27	／	演習	代理ドミナントコードを学ぶ	代理ドミナントの考え方を復習する
28	／	演習	テンションノートを学ぶ①	メジャーキーで学習する
29	／	演習	テンションノートを学ぶ②	マイナーキーで学習する
30	／	試験	テスト	これまでの内容を復習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材、ワークブック、五線紙、筆記用具				

科目名 (英)	音楽理論 2 (Music thory 2)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	今藤雅博
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動。						
授業の学習内容	マイナーダイアトニックコード ノンダイアトニックなドミナントコード テンションノート						
到達目標	マイナーダイアトニックコードの仕組みと、コード機能を理解する。 ノンダイアトニックなドミナントコードを理解する。 各コードで使用可能なテンションノートを理解する。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 授業内評価20% 3) 授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	ドミナント系コードのテンションノートを学ぶ①	テンションの組み合わせについて復習する
2	／	演習	ドミナント系コードのテンションノートを学ぶ②	テンションの組み合わせについて復習する
3	／	演習	借用されたサブドミナントマイナーコードを学ぶ	借用された場合のテンションの違いを復習する
4	／	演習	変則的なサブドミナントコードを学ぶ	起源と使用法、テンションノートを復習する
5	／	演習	ディミニッシュコードを学ぶ	使用法とテンションノートを復習する
6	／	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ 導入	テンションノートとの関係性についてを復習する
7	／	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ①	ドミナント以外のコードを扱って復習する
8	／	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ②	ドミナント系コードを扱って復習する
9	／	演習	テスト	これまでの内容を復習する
10	／	演習	和声学の基礎知識を学ぶ	配分、禁則事項についてを復習する
11	／	演習	3和音基本形を学ぶ①	バス課題を復習する
12	／	演習	3和音基本形を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
13	／	演習	3和音 転回形を学ぶ①	バス課題を復習する
14	／	演習	3和音 転回形を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
15	／	演習	転調と反復進行を学ぶ①	バス課題を復習する
16	／	演習	転調と反復進行を学ぶ②	バス課題を復習する
17	／	演習	転調と反復進行を学ぶ③	ソプラノ課題を復習する
18	／	演習	転調と反復進行を学ぶ④	ソプラノ課題を復習する
19	／	演習	属七和音を学ぶ①	バス課題を復習する
20	／	演習	属七和音を学ぶ②	バス課題を復習する
21	／	演習	属七和音を学ぶ③	バス課題を復習する
22	／	演習	属七和音を学ぶ①	ソプラノ課題を復習する
23	／	演習	属七和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
24	／	演習	属七和音を学ぶ③	ソプラノ課題を復習する
25	／	演習	副七和音を学ぶ①	バス課題を復習する
26	／	演習	副七和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
27	／	演習	属九和音を学ぶ①	バス課題を復習する
28	／	演習	属九和音を学ぶ②	バス課題を復習する
29	／	演習	属九和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
30	／	試験	テスト	これまでの内容を復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材、ワークブック、五線紙、筆記用具				

科目名 (英)	PA実習1 (PA Workshop1)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	條範行
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1998年より(株)東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にてPAエンジニアとして活躍する。						
授業の学習内容	実習を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材セッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。 社会人としてのコミュニケーション、あいさつ、音響・照明・舞台業界全体の仕組みやお金の流れ、それに伴う職に対する姿勢を理解する。						
到達目標	ミュージカル・WE AREのステージングを学び、楽器へのマイキングを学ぶ。 仮設PAセットを接続し音を出せるようにする。						
評価方法と基準	定期テスト 実技テスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	職業理解を深め、心構えを身につける	目標を再確認し、プリントにまとめる
2	／	実習	安全教育 機材の扱い方を身につける	皮手袋、マグライトの扱い方を復習する
3	／	実習	音響・照明・舞台業界全体の仕組み職業を理解する	業界研究し、理解を深める
4	／	実習	ケーブル巻・マイクロホン・スタンドの扱い方を習得する	様々な長さ・太さのケーブル巻きを練習する
5	／	実習	コネクター・マルチケーブルの種類と使用方法を理解する	音響機器マニュアルを熟読する
6	／	実習	音響・照明・舞台業界全体の仕組み職業を理解する	業界研究し、理解を深める
7	／	実習	オームの法則・電気を理解する	電気信号の流れ、記号を復習する
8	／	実習	仙台PIT音響機材、設備について	校内ホール設備を使用して復習する
9	／	実習	外部ホール実習、舞台機構を学ぶ	図面を見て内容を理解する
10	／	実習	ライブイベントに向けての準備を行う	出演者情報を基にプランシートを作成する
11	／	実習	ライブイベントに向けてのサウンドチェックを行う	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
12	／	実習	ライブイベントゲネプロ	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
13	／	実習	ライブイベント本番①	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
14	／	実習	ライブイベント本番②	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
15	／	実習	PA機器の音声信号の流れを理解する	マイクからスピーカーまでのシステムを復習する
16	／	実習	外部ホール実習、ラインアレイスピーカーの構造を知る	機材リスト・タイムテーブルの読み込みを行う
17	／	実習	アナログ卓・EQを使用し実際に接続を理解する①	EQの周波数と音の相互性を復習する
18	／	実習	アナログ卓・EQを使用し実際に接続を理解する②	EQの周波数と音の相互性を復習する
19	／	試験	実技試験:ベーシックな音響機器の組み立てとオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20	／	実習	ステージモニターを追加し、簡易セットを設営、撤去、チェックする①	セッティング内容・機器のリスト・設定を理解する
21	／	実習	ステージモニターを追加し、簡易セットを設営、撤去、チェックする②	セッティング内容・機器のリスト・設定を理解する
22	／	実習	イベントを想定し、仕込み、リハーサル、オペレーションについて学習する①	イベントの目的を理解し、必要な準備を締切を定めて制作する
23	／	実習	イベントを想定し、仕込み、リハーサル、オペレーションについて学習する②	イベントの目的を理解し、必要な準備を締切を定めて制作する
24	／	実習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを体験する	出演者の情報を事前に入手し、円滑な進行ができるよう準備する
25	／	実習	ピンマイクの扱い方を習得する①	A帯ワイヤレスマイクの申請のルールを理解する
26	／	実習	ピンマイクの扱い方を習得する②	ピンマイクの養生と取り付け、取り外し、バッテリー管理などの復習
27	／	実習	回線表を理解しそのとおりに仕込みを行えるようにする①	回線図の読み込みを復習する
28	／	実習	回線表を理解しそのとおりに仕込みを行えるようにする②	回線図の読み込みを復習する
29	／	試験	実技・筆記試験:舞台機構調整士技能認定3級試験を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30	／	実習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セクションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
PA入門				

科目名 (英)	PA実習2	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	條範行
	(PA Workshop2)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1998年より(株)東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にてPAエンジニアとして活躍する。						
授業の学習内 容	卒業までの残り1年間となり、卒業後の就職を具体的に考える 1年生の復習 PA機器接続の理解 個々の楽器の音の作り方を学び、音量・音質・バランスの感覚を習得する。 舞台機構調整技能士3級の実技・ヒアリング・筆記試験の反復練習 作業スピードを上げるにはどうするかを考えさせる						
到達目標	PA機器を全員が接続～音を出せるようにする 舞台機構調整技能士3級全員合格 バンドのミックスバランスを習得する ミュージカル本番を想定した仕込み～本番～バラシの時間を考える						
評価方法と基準	定期テスト 実技テスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	各自卒業後の目標を立て、それに向けてどのようなスキルを磨いていくべきかディスカッションを行う	目標シートを作成する
2	／	実習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようにする①	セッティングシート・回線図を作成する
3	／	実習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようにする②	グループワークの分担表を作成する
4	／	実習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようにする③	設定時間内に作業ができるよう練習する
5	／	実習	周波数の帯域を理解し、自分の耳で変化を聞き分ける訓練を行う①	各種機器に備わっているイコライザーの特性を理解する
6	／	実習	周波数の帯域を理解し、自分の耳で変化を聞き分ける訓練を行う②	メインスピーカー、モニタースピーカー、ヘッドホンなど異なる機器による出音の違いを知る
7	／	実習	デジタル卓を使用して設定方法を習得する①	AD/DAコンバーター・Dante・LAN・マトリックスについて復習する
8	／	実習	デジタル卓を使用して設定方法を習得する②	Wifiとipadアプリでのコントロール・マイク・音源を使用したサウンドチェック復習する
9	／	実習	外部ホール実習、舞台機構を学ぶ	図面を見て内容を理解する
10	／	実習	ライブイベントに向けての準備を行う	出演者情報を基にプランシートを作成する
11	／	実習	ライブイベントに向けてのサウンドチェックを行う	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
12	／	実習	ライブイベントゲネプロ	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
13	／	実習	ライブイベント本番①	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
14	／	実習	ライブイベント本番②	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
15	／	実習	ワイヤレスマイクの種類とチャンネルプランについて習得する	ハンドタイプ、ベルトバックタイプそれぞれのバッテリーやボタン設定などを確認する
16	／	実習	外部ホール実習、ワイヤレスマイクのオペレーションを行う	事前に特定ラジオマイク連盟への申請書類を作成し、送信する
17	／	実習	音作り・エフェクタの使用方法を学ぶ	コンプレッサー、リミッターなどダイナミクス系エフェクトの基本的なセッティングを復習する
18	／	実習	音作り・エフェクタの使用方法を学ぶ②	リバーブ、ディレイなど空間系エフェクトの基本的なセッティングを復習する
19	／	試験	実技試験：デジタル回線を使用した音響機器の組み立てとオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20	／	実習	回線表・プランの作成方法を習得する	仮想のライブを見立てて各自で回線表を作成しプラン通りのセッティングを行ってみる
21	／	実習	ミュージカルを想定し回線プランを作成する①	昨年度までの各種資料を基に実際の新曲等を加えたプランをグループで作成する
22	／	実習	ミュージカルを想定し回線プランを作成する②	本番で利用するホールのプラン及びリハーサル用の設定など各種作成してみる
23	／	実習	スピーカーのチューニングを習得する①	ピンクノイズを鳴らしてHI、HI-MID、MID、LOWのなり方を聴き比べる
24	／	実習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを体験する	出演者の情報を事前に入手し、円滑な進行ができるよう準備する
25	／	実習	ピンマイクの扱い方を習得する①	ラベリアマイクrofホンの特性について教科書とマニュアルを見比べて復習する
26	／	実習	ピンマイクの扱い方を習得する②	実際の現場で取り付けるために必要なテープ類や汗を防ぐ養生用品を復習する
27	／	実習	トラブルシューティング、ステージ上で起こりうるトラブルについて学ぶ①	参考用のライブ映像を鑑賞し、トラブルの起こりやすい環境、場面を考える
28	／	実習	トラブルシューティング、PA卓上で起こりうるトラブルについて学ぶ②	デジタル卓で起こりうる、デジタルループやネットワーク回線トラブルについて復習する
29	／	試験	実技・筆記試験：舞台機構調整士技能認定3級試験を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30	／	実習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セクションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ PA入門				

科目名 (英)	照明実習1 (Lighting Workshop1)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	阿部央到
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2001年より(株)東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にて照明オペレーターとして活躍する。						
授業の学習内容	照明エンジニアを目指すうえで、必要な知識を知る。 基本的な機材の種類や用途、分電盤や調光ユニットについて、調光卓やDMX制御など信号系の把握。 いろんなイベントでの準備から仕込み、シュート、明かり作り、リハーサル、本番、バラシまでの作業内容、作業工程への理解。 照明の作業は大きなイベントになるほどたくさんの人たちと関わる仕事です。あいさつやコミュニケーションの大切さやなども身につける。						
到達目標	仕込みからシュート・本番でのPINスポットの必要性の理解、実技。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	舞台照明とは何かを知る	校内ホール設備を使用して復習する
2	／	実習	光の三原色を学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
3	／	実習	レンズの種類を学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
4	／	実習	ランプの種類を学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
5	／	実習	カラーフィルターを学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
6	／	実習	照明で使用するケーブルを学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
7	／	実習	照明で使用するコネクターを学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
8	／	実習	仙台PIT照明機材、設備について学ぶ	校内ホール設備を使用して復習する
9	／	実習	外部ホール実習、舞台機構を学ぶ	図面を見て内容を理解する
10	／	実習	ライブイベントに向けての準備する	出演者情報を基にプランシートを作成する
11	／	実習	ライブイベントに向けてのピンスポット練習する	ステージ図面を基にシミュレーションリハーサルを行う
12	／	実習	ライブイベントゲネプロを行う	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
13	／	実習	ライブイベント本番を行う①	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
14	／	実習	ライブイベント本番を行う②	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
15	／	実習	イベントの振り返り・反省する	各自が体験した反省点を項目ごとに準備する
16	／	実習	外部ホール実習、インカムを使用した連携を学ぶ	機材リスト・タイムテーブルの読み込みを行う
17	／	実習	デジタル機器への理解を深める①	デジタル機器マニュアルを熟読する
18	／	実習	デジタル機器への理解を深める②	デジタル機器マニュアルを参照し操作を行う
19	／	試験	実技試験：ベーシックな照明機器の吊り込みとオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20	／	実習	ミュージカル実習に向けた役割分担を行う	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にメンバーを割り振る
21	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う①	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にセクション毎の必要スキルを準備する
22	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う②	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にセクション毎の必要スキルを準備する
23	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う③	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にセクション毎の必要スキルを準備する
24	／	実習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを体験する	出演者の情報を事前に入手し、円滑な進行ができるよう準備する
25	／	実習	シュート技術指導を行う①	ステージでの竿振り技術の練習を行う
26	／	実習	シュート技術指導を行う②	サス、フロア、スモークを使用した練習を行う
27	／	実習	図面を見て仕込み→シュート→バラシの総合実技を行う①	クラス内でチームを編成し、仕込み図を作成する
28	／	実習	図面を見て仕込み→シュート→バラシの総合実技を行う②	制限時間内で規定の作業を行えるよう練習する
29	／	試験	実技・筆記試験：舞台テレビジョン照明オペレーター技能認定を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30	／	実習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セクションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	照明実習2 (Lighting Workshop2)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	阿部央到
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2001年より(株)東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にて照明オペレーターとして活躍する。						
授業の学習内容	卒業まで自分が目指す照明エンジニアへの準備。 1年生で学んだことの復習と応用。 作業内容のよりよくするための見直し、仕込みやプログラムスピードの向上。						
到達目標	図面制作、仕込み、パッチ、シュート、プログラム、バラシすべての作業のクオリティーをあげること。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	照明卓Tiger TouchⅡの機能を学ぶ①	Tiger TouchⅡを使用して復習する
2	／	実習	照明卓Tiger TouchⅡの機能を学ぶ②	Tiger TouchⅡを使用して復習する
3	／	実習	照明卓Tiger TouchⅡの機能を学ぶ③	Tiger TouchⅡを使用して復習する
4	／	実習	Tiger TouchⅡでのプログラミングを学ぶ①	Tiger TouchⅡを使用して復習する
5	／	実習	Tiger TouchⅡでのプログラミングを学ぶ②	Tiger TouchⅡを使用して復習する
6	／	実習	Tiger TouchⅡでのプログラミングを学ぶ③	Tiger TouchⅡを使用して復習する
7	／	実習	外部ホール実習に向けて準備をする	校内ホール設備を使用して復習する
8	／	実習	外部ホール実習に向けて仕込み・シュート実習を行う	校内ホール設備を使用して復習する
9	／	実習	外部ホール実習	1・2年生で合同ゲームを組む、アープとしてリーダーシップを発揮できるよう資料等準備する
10	／	実習	ライブイベントに向けての準備をする	出演者情報を基にプランシートを作成する
11	／	実習	ライブイベントに向けてのピンスポット練習する	ステージ図面を基にシミュレーションリハーサルを行う
12	／	実習	ライブイベントゲネプロを行う	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
13	／	実習	ライブイベント本番を行う①	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
14	／	実習	ライブイベント本番を行う②	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
15	／	実習	イベントの振り返り・反省する	各自が体験した反省点を項目ごとに準備する
16	／	実習	外部ホール実習 調光卓の操作を行う	機材リスト・タイムテーブルの読み込みを行う
17	／	実習	ホール・劇場での仮設卓使用について学ぶ	設置場所の形状と使用電源の電力確認を行い、ホール担当者との事前情報交換などを行う
18	／	実習	照明基礎知識の確認・復習を行う	これまでの教科書・プリントを見直し復習する
19	／	試験	実技試験：吊り込み作業とTiger TouchⅡを使用してムービングのオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20	／	実習	ミュージカル実習に向けた役割分担を行う	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にメンバーを割り振る
21	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う①	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にセクション毎の必要スキルを準備する
22	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う②	演出内容を基にセクション毎の必要スキルを磨く
23	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う③	仮設卓・照明・ムービング・プロジェクションなど各チーム合同でシミュレーション作業を行う
24	／	実習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを行う	1・2年生で合同ゲームを組む、アープとしてリーダーシップを発揮できるよう資料等準備する
25	／	実習	野外仮設照明現場について学ぶ①	設置場所の形状と使用電源の電力確認及び機などの高所作業の安全確認も行う
26	／	実習	野外仮設照明現場について学ぶ②	設置場所の形状と使用電源の電力確認及び機などの高所作業の安全確認も行う
27	／	実習	図面を見て仕込み→シュート→バラシの総合実技を行う①	クラス内でチームを編成し、仕込み図を作成する
28	／	実習	図面を見て仕込み→シュート→バラシの総合実技を行う②	制限時間内で規定の作業を行えるよう練習する
29	／	試験	実技・筆記試験：舞台テレビジョン照明オペレーター技能認定1級を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30	／	実習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セクションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	レコーディング実習1 (Recording Workshop1)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	常盤 大志
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	通年 水曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	メジャーアーティストへの楽曲提供、演奏参加、レコーディング参加						
授業の学習内 容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	スタジオの仕組みを理解し基本的な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	スタジオの機能と各機材の役目を理解する。	コンソールルームと各スタジオブースのin、outの流れを把握する
2	／	実習	各種の接続ケーブルを見て役割を学ぶ。	バランス、アンバランス、パッチ、MIDI、USB、デジタル、それぞれの特性を把握する。
3	／	実習	バランスとアンバランス接続を理解する。	X、L、Rそれぞれの信号の関係性を把握する。
4	／	実習	ダイナミックマイクの構造と特徴を理解する。	SHURE 58とSHURE 57の基本的な使用法を理解し実践してみる。
5	／	実習	コンデンサーマイクの構造と特徴を理解する。	Neumann U87、AKG 414をセッティングし、マイクで拾った音を聞いてみる。
6	／	実習	リボンマイクや特殊なマイクを理解する。	それぞれのマイクを使用してサウンドの違いを確かめる。
7	／	実習	ProToolsに録音する方法を学ぶ。	セッションをセットアップし、4トラック以上、8小節以上のもののオーディオトラックを作成する。
8	／	実習	DIの役割を理解する。	コンソールから+48Vの電力を供給し、増幅されたインプットレベルを計測・確認する。
9	／	実習	マイクプリアンプの役割を理解する。	スタジオ常設のプリアンプを複数台使用し、音色の違いを確かめる。
10	／	実習	イコライザーの役割を理解する。	イコライザーの周波数帯と音の相互性を確認する
11	／	実習	コンプレッサーの役割を理解する。	Gain、threshold、ratio、Attack、releaseなどの用語と役割を覚える。
12	／	試験	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	PA と Recording の違いについて考える。	PA と Recording の違いについての見解をレポートする。
14	／	実習	ディレイについて理解する。	録音時、ミキシング時の基本的な使い方を実践してみる。
15	／	実習	リバーブについて理解する。	録音時、ミキシング時の基本的な使い方を実践してみる。
16	／	実習	SSLのパッチベイを理解する。	基本的なセッティングを理解し各自でセッティングを復習する。
17	／	実習	ヴォーカルのマイクセッティングを考える。	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
18	／	実習	ワークショップ・ヴォーカルを録音する①	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
19	／	実習	アコギでオンマイクとオフマイクを理解する。	2本のマイクを立ててサウンドを比較し、ミキシングやフェイズなどを試して音質を確かめる。
20	／	実習	ワークショップ・楽器録音:アコギを録音する①	3本のマイクを立ててサウンドを比較し、ミキシングやフェイズなどを試して音質を確かめる。
21	／	実習	ドラムのマイクセッティングを考える。	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
22	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ドラムを録音する①	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
23	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ドラムを録音する②	イコライザー、コンプレッサー、リバーブなど様々なエフェクトを試してミキシングする。
24	／	実習	E.ギターの録音を考える。	ロックギターのリズムトラックを録音する。
25	／	実習	ワークショップ・楽器録音:エレキギターを録音する①	ロックギターのリードトラックを多重録音する。リズムトラックとミキシングしてみる。
26	／	実習	ベースの録音を考える。	ファンクベースの音作りを意識して録音する。
27	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ベースを録音する①	ファンクベースの音作りを意識して録音する。エフェクトを各種試してみる。
28	／	実習	ピアノのマイクセッティングを考える。	アップライトピアノを使用してソロピアノを録音する。
29	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ピアノを録音する①	アップライトピアノを使用してソロピアノを録音する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	レコーディング実習2 (Recording Workshop2)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	常盤 大志
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2003年よりレコーディングエンジニアとしてMonkeymajik等のアーティストを担当、現在はプロデューサーとしてアーティスト育成も行う						
授業の学習内 容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	一般的な録音作業を理解し実践出来るようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	ProToolsの初期設定を理解する。	各種音質設定をサンプルを参考に比較する。
2	／	実習	ProToolsの各種トラックを理解する。	オーディオ、MIDI、ビデオトラックなどを複合したセッションを作成してみる。
3	／	実習	タイムコードとクロックを理解する。	MIDI機器を複数台リンクして同期を試してみる。
4	／	実習	ステレオマイクセッティングを理解する。	ステレオマイクを設置して録音し、モノラルとの違いを比較する。
5	／	実習	実践的なEQの使い方を考える。	ドラムの録音にイコライザーを使用してみる。
6	／	実習	実践的なコンプレッサーの使い方を考える。	ドラムの録音にコンプレッサーを使用してみる。
7	／	実習	実践的なディレイの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にディレイを使用してみる。
8	／	実習	実践的なリバーブの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にリバーブを使用してみる。
9	／	実習	HAの使い方を考える。	ミキサー内蔵のマイクプリアンプや外付けタイプの機種など特徴を覚える。
10	／	実習	トランスの役割を理解する。	スタジオ内の電源口の電圧の違いと、115Vの用途を把握する。
11	／	実習	DI と リアンプ を理解する。	リアンプ時の出力レベル範囲を把握し、実際に音を録音して試聴する。
12	／	実習	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	フィードバックを軽減させる手法とマフスベック・パワーのバランスを各機で試してみる。
14	／	実習	デジタルとアナログの接続ケーブルを学ぶ。	アナログ接続ケーブルのメーカー、グレード、長さなど複数試して違いを確かめる。
15	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
16	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
17	／	実習	ProTools のデジタル接続を理解する。	PC、インターフェース、ミキサーの間でデジタル使用による音質の違いを確かめる。
18	／	実習	マルチコンプレッサーを理解する。	プラグインを利用して帯域ごとにGAINを調節して音色を確認する。
19	／	実習	アナログレコーダーを理解する。	アナログの音質の長所、短所とテープを扱う上での注意点を把握する。
20	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
21	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
22	／	実習	ProTools のバウンスを理解する。	仕事内容、目的の応じて作成するファイル形式が異なる事を復習し、把握する。
23	／	実習	M-Sマトリックスを学ぶ。	ステレオ信号を、Mid成分(L+R)とSide成分(L-R/R-L)の3チャンネルに分けてMIXしてみる。
24	／	実習	マスタリングについて理解する。	サンプルセッションを使用してマスタリングを完成させる。
25	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
26	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
27	／	実習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1bit録音で作成された音源を視聴し、音質を確かめる。
28	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
29	／	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ヴォイストレーニング1 (Voice training 1)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	長谷川開
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulanticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内 容	発声の基礎。コーラス、クワイヤでの声の使い方。パフォーマンス力の向上						
到達目標	基礎的な発声トレーニング方法の習得。アンサンブル能力。コーラスワークの技術向上						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
2	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、ひまわりの約束を練習する、世界にひとつだけの花を解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、roarを練習する、Sing For Lifeを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、世界で一番の奇跡を練習する、Singを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Singを練習するtry everythingの解説	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Sing、try everythingを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、try everythingを練習する、ふるさとを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、ふるさとを練習する、any way you want itを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
17	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、Soak up the sunとstand by meの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth、Born to be wild発音、メインメロディ、コーラス	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth、Born to be wildの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth、Born to be wildの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth、Born to be wildの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の作成、歌唱の練習
27	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、2年間学んだ全曲の振り返りを行う	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ヴォイストレーニング2 (Voice Training2)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	長谷川開
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulanticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声についての基礎と応用。歌唱との結び付け。歌を歌う授業は勿論、声を使う授業全般に関連します。						
到達目標	業界に通用する基礎能力、技術力。練習や課題を通しての人間力向上や、プロセスの踏み方等。						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	／	実習	発声についての復習と課題曲発表を行う	自主練習※特殊課題やレポートが出された際はそれを行う。	
2	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
3	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
4	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
5	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
6	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
7	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
8	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
9	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
10	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
11	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
12	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
13	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
14	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
15	／	試験	Vocal Show Case発表		
16	／	実習	発声についての復習と課題曲発表を行う	自主練習※特殊課題やレポートが出された際はそれを行う。	
17	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
18	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
19	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
20	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
21	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
22	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
23	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
24	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
25	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
26	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
27	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う	
28	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う	
29	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う	
30	／	試験	Vocal Show Case発表		
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 □					

科目名 (英)	コンサート制作1	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	佐藤晃彦
	(Concert Making1)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する。						
授業の学習内 容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30% 専門用語を使いこなせる						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	／	実習	授業の概要と進行を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する	
2	／	実習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える	
3	／	実習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す	
4	／	実習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する	
5	／	実習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある会場を見つけてみる	
6	／	実習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する	
7	／	実習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える	
8	／	実習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える	
9	／	実習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する	
10	／	実習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する	
11	／	実習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える	
12	／	実習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる	
13	／	実習	筆記試験による理解度テスト		
14	／	実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を経験する	
15	／	実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を経験する	
16	／	実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を経験する	
17	／	実習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する	
18	／	実習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する	
19	／	実習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える	
20	／	実習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える	
21	／	実習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える	
22	／	実習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする	
23	／	実習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする	
24	／	実習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする	
25	／	実習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える	
26	／	実習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える	
27	／	試験	筆記試験による理解度テスト		
28	／	実習	舞台機構実習を行う①学校ホール	卒業進級展を運営し、1年間の総括を行う	
29	／	実習	舞台機構実習を行う②ライブハウス	卒業進級展を運営し、2年間の総括を行う	
30	／	実習	舞台機構実習を行う③ライブハウス	卒業進級展を運営し、3年間の総括を行う	
準備学習 時間外学習			授業で学んだものを実習に活用できるように整理する		
【使用教科書・教材・参考書】 都度配布(コンサート制作資料)					

科目名 (英)	コンサート制作2 (Concert Making2)		必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	千葉秀
			授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)							
教員の略歴	1989年より流行天国工房を設立し、プロデューサーとして音楽を中心としたTV番組制作やCD制作、コンサート制作のマネジメントを歴任							
授業の学習内容	*音楽業界にとどまらず組織を円滑に運営するためマネジメントは重要でその基礎となる部分を体験していく *グループ、組織での合同実習などの際に「見学」から一歩踏み込んで自分の場を作る事を目指し、疑問→考え→行動まで移す。 *リーダーとマネジメントの違いに気付いてもらい、相手の立場や個性も尊重し合いながらミッションを達成するという最大目標を投げ出さず、到達させたい。 *わからない。失敗する。を前提としなるべく多くの答えを導き体験させたい。							
到達目標	締め切りまでのアップ率強化。対外的な見せ方、メモ強化。即行動。返事のレスポンス。[疑問を疑問のまままで終わらせないなどを注意深く、根気強く、わかりやすく、ループしながら教えていく。]							
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 授業内評価40%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	各自自己紹介と1年間の流れを説明する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2	／	実習	グループワークでコミュニケーションの糸口を探る	人前で発表する事を練習する
3	／	実習	マネジメントとマネージャーについて学ぶ	これまで持っていた概念と本来の意味のギャップを埋める
4	／	実習	合同授業(現場マネジメント)現場という空間の中で自分が準備しなければいけない事を学ぶ	行動に移さなければいけないことをシーンごとに確認する
5	／	実習	合同授業(学園祭反省会)学園祭の計画内容と、実際の行動での気づきを発表する。	正しい自己評価ができてくるか検証する
6	／	実習	制作費(予算)の算出を学ぶ	事業計画をするにあたって必要な制作費の算出項目とその算出方法を身に付ける
7	／	実習	現場マネジメント(スケジュール管理)ミュージカル実習を連動する	本番までのスケジュール管理をしていく、全体スケジュール表の制作とクラウドにアップする
8	／	実習	多様化していくプロモーションアイテムについて学ぶ	媒体の種類・方法について調べてみる
9	／	実習	WEBプロモーションの仕組みや印刷に関する基礎知識を学ぶ	媒体の種類・方法について調べてみる
10	／	実習	現場マネジメント(情報管理)ミュージカル実習を連動する	計画通りに進んでいるか、新規情報があるかなどをチェックしクラウドアップ・共有する
11	／	実習	現場マネジメント(プロモーション・運営計画)ミュージカル実習(決起集会)を連動する	伝えたいテーマ、目標、達成値などをメモし、その意向を自分でも十分外部に発信できるようにする
12	／	実習	現場マネジメント(制作計画)ミュージカル実習と連動する	現場で必要なデータを管理し、各セクションとのコミュニケーションの中心になるためのフォーマット作り、制作項目のチェックリスト作り、クラウドアップ
13	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを学ぶ	ミュージシャンのパフォーマンスが高くなるために必要な環境をどう作っていくか考える
14	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	手話指導やリハーサル時間外でどのようにコミュニケーションを構築していくか実践する
15	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	キャスティングの決定した段階で担当マネージャーを配置する
16	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	ホールリハーサル実習、タイムテーブルに従い円滑に進行できるようサポートする
17	／	試験	イベント本番	
18	／	実習	人を使う、人に教えることについて学ぶ	各セクション毎に練習とミッション遂行。
19	／	実習	業界対策に関する講義を行う	学んだ様々な対策を自身の業種や進路になぞらえて考える
20	／	実習	イベント運営を主催者目線で考える	コンセプトワークとマネジメントについて話し合う
21	／	実習	イベント企画を多方向から考える1	題材を基に各自のアイデアや事例を出し合いまとめる
22	／	実習	イベント企画を多方向から考える2	題材を基に各自のアイデアや事例を出し合いまとめる
23	／	実習	組織としてのイベント企画を行う1	卒業進級展を題材に運営計画を打ち合わせる
24	／	実習	組織としてのイベント企画を行う2	卒業進級展を題材にタイムテーブル・企画書を作成する
25	／	実習	組織としてのイベント企画を行う3	卒業進級展を題材にタイムテーブル・企画書を作成する
26	／	実習	組織としてのイベント企画を行う4	卒業進級展を題材に出演者とのミーティングを行う
27	／	実習	組織としてのイベント制作を行う1	卒業進級展を題材に出演者とのミーティングを行う
28	／	実習	組織としてのイベント制作を行う2	卒業進級展を題材にリハーサル計画・プロモーションプランを完成する
29	／	実習	組織としてのイベント制作を行う3	卒業進級展を題材にリハーサル運営とプロモーションを行う
30	／	試験	イベント本番	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)		楽器演奏Ⅰ (Basic KeyboardⅠ)		必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	齋藤 恵
				授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)								
教員の略歴		キーボード奏者・作編曲・ポップスを中心にアーティストのサポート演奏やソロ演奏、制作を行う							
授業の学習内 容		基本的な奏法 コードの押さえ方 コードの連結方法							
到達目標		作曲したり、音楽について何かを考えたりするときに鍵盤で考えられるようになる DTMの際もある程度鍵盤で弾けるようになる							
評価方法と基準		1) 実技試験60% 2) 授業内評価40%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	基本姿勢について学ぶ	指番号を把握しておく
2	／	実習	トライアドとスケールについて学ぶ①	和音の押さえ方、スケールの運指を練習する
3	／	実習	トライアドとスケールについて学ぶ②	簡単なコード進行で練習する
4	／	実習	トライアドのヴォイスングについて学ぶ①	転回形を含む課題を弾く
5	／	実習	トライアドのヴォイスングについて学ぶ②	なるべく動きが少なくなるように考える
6	／	実習	楽曲で練習する	慣れないうちは片手でも良い
7	／	実習	楽曲で練習する	両手で弾いてみる
8	／	実習	楽曲で練習する	余裕があればメロディーも弾く
9	／	試験		
10	／	実習	7thコードについて学ぶ①	和音の押さえ方を練習する
11	／	実習	7thコードについて学ぶ②	転回形の練習する
12	／	実習	7thコードについて学ぶ③	簡単なコード進行で練習する
13	／	実習	7thコードについて学ぶ④	簡単なコード進行で練習する
14	／	実習	楽曲で練習する	7thコードを使用して練習 する
15	／	実習	楽曲で練習する	余裕があればメロディーも弾く
16	／	実習	楽曲で練習する	余裕があればメロディーも弾く
17	／	試験		
18	／	実習	伴奏型について学ぶ①	よく使われる伴奏型を覚える
19	／	実習	伴奏型について学ぶ②	よく使われる両手での伴奏型を覚える
20	／	実習	テンションコードについて学ぶ①	よく使われる形の学習する
21	／	実習	テンションコードについて学ぶ②	コード進行で練習する
22	／	実習	楽曲で練習する	テンションコードを使用して練習する
23	／	実習	楽曲で練習する	自分でヴォイスングを考える
24	／	実習	楽曲で練習する	自分でヴォイスングを考える
25	／	試験		
26	／	実習	スラッシュコードについて学ぶ①	よく使われる形の学習する
27	／	実習	スラッシュコードについて学ぶ②	コード進行で練習する
28	／	実習	楽曲で練習する	スラッシュコードを使用して練習する
29	／	実習	楽曲で練習する	スラッシュコード・クリシェを使用して練習する
30	／	試験		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材、プリント配布、五線紙、筆記用具				

科目名 (英)	楽器演奏2 (Advanced Keyboard2)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	稲垣達也
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分	通年 月曜
教員の略歴	1982年よりピアニスト・作曲家として活動。Jazz Popsをベースにジャンルフリーに作曲演奏活動し、CDもリリース。2004年にはNHK番組の音楽も担当。						
授業の学習内容	1年次に習得したPianoの基礎演奏技術(脱力>指に重さが乗せられる、ハノン、コードネームによる演奏、ペダル)をもとに2年次はハイフィンガーによる指の筋力の強化、ハノンによる指の分離3-4 4-5、スケールトレーニング様々なジャンルの楽曲のアナライズと他の楽器〜バンドにおけるKeyboardの役割、演奏法、コードのボイスイングを総合的に習得する 音符の譜面で弾けるようになったら、リードシートだけで弾けるように仕上げる						
到達目標	音符の読譜力を高め、Piano SoloやPianoだけによる伴奏、弾き語りができるようにする 音符による譜面が無くても、メロディー&コードの譜面(リードシート)で自ら適切なTop noteによるボイスイングができる。 テンションノートを適切に使用できる。 その曲のジャンルに合ったGrooveを音源やスコアーから把握し、Gt Dr Bass などアンサンブル内におけるKeybが担う役割を把握し適切なリズム、Grooveを与える コードネーム、コード進行をアナライズしてコードスケールを把握できる>コード進行に沿ったad-libができる						
評価方法及び基準	1)定期実技テスト50% 2)授業内評価50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	／	実習	Pops メジャーKey ①-1 p8～9 ♪パターン 01～03 コード進行アナライズ ペダルポイントとは 音源 1、2 を練習する	「キーボード・バックイング138+付属音源」 音符の譜面で弾けるようになったら、Keyb無しのリードシート音源に合わせて練習する	
2	／	実習	コードネーム>まずメジャー三和音に直して弾く	>mなら3rdをb>7thやM7thがあれば付加 >コードの転回によるスムーズな連結 ♪最初のコードのTop noteをメロディーとの兼ね合いで決め>伴奏として適切な音域に収める	
3	／	実習	Pops メジャーKey ①-2 p8～9 ♪パターン 01～03 コード進行アナライズ ペダルポイントとは ソプラノ・ペダル(2音もある)がコードチェンジしたそれぞれのコードで何の音にあたるか解析する	基本コードの全音上のmコード=(9、11、13) 分数コード>ベース音をRとして書き直してみると>3rdや5thの省略されたテンションコード この時の分子が3和音の時U.S.T.	
4	／	実習	Pops メジャーKey ② P10～11 ♪パターン04～07 音源 2を練習する	楽器:パッド、ローズ、シンセ&リード で練習する	
5	／	実習	①カントリー・ポップ p20～21 テンポ 80 bpm ♪パターン 01～03 音源 7、8を練習する <Rhodesローズ ハモンドOrg ストリングスStr >YAMAHA P140 Others(Org Str Clav)	下記楽曲を練習する 「ジャンバラヤ」ハンク・ウィリアムス 「Top of the World」(カーペンターズ) 「カントリーロード」ジョンデンバー	
6	／	実習	②カントリー・ロック p22～23 テンポ 110 bpm ♪パターン 01～03 音源 9、10を練習する	下記楽曲を練習する C.C.R.「雨を見たかい」「ブラウドメアリー」	
7	／	実習	Pops マイナーKey ① p14～16 Gtとの役割分担 ♪パターン 01～03 マイナーKey ② p16～19 ♪パターン 06～11を練習する	音源 5 ポップス(ダーク)/リード・シート 音源 6 ポップス(ダーク) に合わせて練習する	
8	／	実習	ブラック・ミュージックのGroovyなバックイング P28～33 を練習する 同じコード進行だが音源(楽器)とリズムによって様々なGrooveを生み出す	音源15 リズミック/リード・シート 音源16 リズミック に合わせて練習する	
9	／	実習	<BE> W10～12 の課題曲の音源 & keyb譜面も合わせてアナライズ、演奏する	下記楽曲を練習する ① Ain't No Mountain High Enough ② We are the world	
10	／	実習	ブルースをBlue Noteから練習する Blue Noteの3音-- b3 #4(b5) b7 ♪Blue Note Scale b3 #4(b5) b7 全て含む ♪Minor Pentatonic b3 b7	Blues Rock (HG3>GS>24.BLS) 「Crossroads」(エリック・クラプトン) 「Can't Buy Me Love」(ビートルズ) Aメロ 12小節3コードbluesリズム=シャツフル	
11	／	実習	<アドリブ即興演奏> F bluesにおけるad-libフレーズの作り方 >スケールの1音、2音、3音、4音、全ての音 稲森康利『First Step』F blues / Bb blues フレーズ集&付属CDを練習する	Solo Pianoを練習する ①「君をのせて」 RH メロ LH 10thのアルペジオの作り方 ② 2 Hand ボイスイング / 10thのアルペジオ	
12	／	実習	曲のジャンルを説明し、そのジャンルでの成り立ちやセッション、アンサンブル時における必要な知識と対応力のキーポイントを理解し、コード進行とメロディの関係を考える。テーマが弾ける人は引いてもらい一通り通す事を目標とする。	<Spain>アドリブは取れる人のみで構わないが、使える音を理解する。テンポを変えて演奏し、一人一人がアレンジを考え曲に対しての様々なアプローチを実践する。	
13	／	実習	曲を通して演奏できる事を目標とし、アドリブ、エンディングをしっかりとできるようにし、次の録音に向けた対策をとる。	<Spain>アドリブは取れる人のみで構わないが、使える音を理解する。テンポを変えて演奏し、一人一人がアレンジを考え曲に対しての様々なアプローチを実践する。	

14	／	実習	ワークショップ 録音実習を行う	最終確認を行い、録音を行う。録音を確認し、何がよく、何が足りないかを考察し、どうすればよくなるか耳と自己診断を行う。
15	／	試験	<Keyb実技試験> コード、スケール(片手→両手)、運指を行う	メジャーキー ③ Intro & Outro p12～13 ♪イントロ 01～03 ピアノのみ、2コード、リズム ♪アウトロ 01～03 盛り上がり、カットアウト、落ち着いたEnding
16	／	実習	<BE> ①Uptown Girl (key=Db) ②Perfect を練習する	曲の練習前に「指のストレッチ」のプリントで腕、手首、指の脱力>腕の重さを指先にかけた奏法により手の筋肉だけに頼る無理な奏法を修正する
17	／	実習	コードネームからのR-3-5-7の見つけ方を学ぶ	コードネームの読み取り方を練習する 例 Dm7 ① D(メジャー)の手の形(鍵盤の色) ② D→Dm 3rdを半音下げる ③ 7th ルートDの全音下の音を加える
18	／	実習	<BE> W4 (5/21)～W6 (6/11) ① Virtual Insanity ハーフタイムシャッフル ② We Are Never Ever Get Back Together Vo.:テイラー・スウィフト(カントリーポップス)を練習する	Swing ⇄ Shuffle Swing(倍テン) ⇄ Half time Shuffle *倍テン→Double Time feelを練習する
19	／	実習	<IE> W4～6 The Girl From Ipanema ポサノヴァ 参考 Piano Trio用譜面 バックギング・パターン ポサノヴァ p76～77 ♪パターン01～03 音源39&40を練習する	Pianoテンションコードcloseボイシング(片手) A form(3rd～) B form(7th～)を Ⅱ m7-V7-I のコード進行で12keyで練習する
20	／	実習	学園祭担当曲を練習する	P-140 とRD700:Transpose(移調) RD700のOrg音源に対するExpペダルとロータリースピードSlow ⇄ Fastの使い方 RD700本体にセッティングを記憶・保存する方法
21	／	実習	<BE> W7～9 ① Rosanna ② Break Out <IE> W7～9 Spain (Chick Corea) を練習する	ハーフタイムシャッフルの草分けTOTOの「Rosanna」を練習する Jazzにスバニッシュとラテンを加えたChick Corea歴史的名曲「Spain」を音源、映像などを見ながら深く味わう
22	／	実習	<BE> W7～9 ① Rosanna ② Break Out <IE> W7～9 Spain (Chick Corea) を練習する	ハーフタイムシャッフルの草分けTOTOの「Rosanna」を練習する Jazzにスバニッシュとラテンを加えたChick Corea歴史的名曲「Spain」を音源、映像などを見ながら深く味わう
23	／	実習	ブラック・ミュージックのGroovyなバックギング P28～33 同じコード進行だが音源(楽器)とリズムによって様々なGrooveを生み出す ♪パターン 01～11を練習する	音源15 リズム/リード・シート 音源16 リズムを模範演奏として練習に合わせて練習する
24	／	実習	<BE> W10～12 ① Ain't No Mountain High Enoughを練習する	Ain't No Mountain High EnoughのRD700における音源を選ぶ
25	／	実習	<BE> W10～13 ② We Are the Worldを練習する	We Are the WorldのRD701における音源を選ぶ
26	／	実習	Blues scale⇄マイナーペンタトニック F bluesにおけるad-libフレーズの作り方を学ぶ >スケールの1音、2音、3音、4音、全ての音 稲森康利『First Step』F blues / Bb blues フレーズ集&付属CD	<Jazz blues>を練習する ① C Jam Blues (Cblues) 右手 テーマ&ad-lib 左手 コードの2音(R-5.3rd-7th,7th-3rd)
27	／	実習	Blues scale⇄マイナーペンタトニック F bluesにおけるad-libフレーズの作り方を学ぶ >スケールの1音、2音、3音、4音、全ての音 稲森康利『First Step』F blues / Bb blues フレーズ集&付属CD	<Jazz blues>を練習する ② Bag's Groove (Fblues) 右手 テーマ&ad-lib 左手 コードの2音(R-5.3rd-7th,7th-3rd)
28	／	実習	Blues 12小節 3コードのバックギング(両手) p52～55 ♪パターン 01～07 音源 23、24を練習する	Pianoテンションコードcloseボイシング(片手) A form (3rd～) B form (7th～)を 「枯葉」のLHのみのバックギングをA,Bフォームで <ミュージカルHOMの挿入曲>
29	／	実習	ソウルなバックギング p40～45さらにその先を今まで通り音源を利用して練習する	Pianoテンションコードcloseボイシング(片手) A form(3rd～) B form(7th～)を Ⅱ m7-V7-I のコード進行で12keyで練習する
30	／	試験	Keyb実技試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
キーボード・バックギングパターン138 音源ファイルは2つセット 例 05 ポップスのリードシート(Keyb以外) 06 譜面通りKeyb入り				

科目名 (英)	楽器アンサンブル1 (Instrumental Ensemble1)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	黒瀬寛幸
	学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜
教員の略歴		1999年からベースプレイヤーとして活動し、ティーンカリナなどのサポートやセッション、ベースマガジンへの寄稿でも知られている。						
授業の学習内 容		音楽界が必要としている生演奏のクオリティの向上と楽曲の研究 各科、アナライズの授業でより深く研究、フィードバック 名曲を知り、音楽に対する尊さと思慮深さを身につける 以上を踏まえ、三回で1クールとし楽器陣は二曲、ヴォーカルは1曲を課題曲とする。						
到達目標		バンド内での音楽的コミュニケーションを知り、全体で音楽を作る習慣を身につける。						
評価方法と基準		1)定期テスト60% 2)授業内評価40% ※各クール 3回目をテストとし、ライブ形式での実演を評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	下記楽曲を練習する 男性曲 Stand by me	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
2	／	実習	女性曲 Soak Up The Sun	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
3	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
4	／	実習	下記楽曲を練習する 男性曲 Can't By Me Love	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
5	／	実習	女性曲 Girl Friend	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
6	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
7	／	実習	下記楽曲を練習する 男性曲 Born To Be Wild	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
8	／	実習	女性曲 I Feel The Earth Move	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
9	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
10	／	実習	下記楽曲を練習する 男性曲 Play That Funky Music	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
11	／	実習	女性曲 Reach	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
12	／	実習	下記楽曲を練習する	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
13	／	実習	Music International Project(未定)	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
14	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
15	／	試験	前期総合テスト	
16	／	実習	下記楽曲を練習する海外研修曲(未定)	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
17	／	実習		全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
18	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
19	／	実習	下記楽曲を練習する	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
20	／	実習	Music International Project(未定)	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
21	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
22	／	実習	下記楽曲を練習する 男性曲 Any Way Want It	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
23	／	実習	女性曲 Hot Stuff	全パート合同で練習する箇更点、アレンジ定着
24	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMDを含む進捗案を考えてくる
25	／	実習	下記楽曲を練習する We Are SCA 対策期間 全楽曲の復習・パフォーマンス練習	バンドごとのリハーサルを行う 他授業でのアレンジ ブラッシュアップ要点確認
26	／	実習		
27	／	実習		
28	／	実習		
29	／	実習		
30	／	試験	卒業進級展ライブ	
準備学習 時間外学習			各曲の様々なバージョンをYoutube等での閲覧、取り入れ	
【使用教科書・教材・参考書】				
SCA製作譜面、メモ用五線譜、楽器、シールド、チューナー、エフェクター等				

科目名 (英)	楽器アンサンブル2 (Instrumental Ensemble1)		必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	黒瀬寛幸
	学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 4	開講区分	前期 水曜
教員の略歴 1999年からベースプレイヤーとして活動し、ティーナカーナなどのサポートやセッション、ベースマガジンへの寄稿でも知られている。								
授業の学習内容	音楽界が必要としている生演奏のクオリティの向上と楽曲の研究 各科、アナライズの授業でより深く研究、フィードバック 名曲を知り、音楽に対する尊さと思慮深さを身につける 以上を踏まえ、三回で1クールとし楽器陣は二曲、ヴォーカルは1曲を課題曲とする。							
到達目標	バンド内での音楽的コミュニケーションを知り、全体で音楽を作る習慣を身につける。							
評価方法と基準	1)定期テスト60% 2)授業内評価40% ※各クール 3回目をテストとし、ライブ形式での実演を評価とする。							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	／	実習	下記楽曲を練習する 男性曲 Up Town Girl 女性曲 Perfect	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
2	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
3	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
4	／	実習	男性曲 Virtual Insanity 女性曲 We Are Never Ever Getting Back Together	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
5	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
6	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
7	／	実習	男性曲 Rossana 女性曲 Break Out	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
8	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
9	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
10	／	実習	Ain't No Mountain High Enough We Are The World	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
11	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
12	／	実習	Music International Project(未定)	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
13	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
14	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
15	／	試験	前期総合テスト		
16	／	実習	男性曲 Can't Fight This Feeling 女性曲 Heart Breaker	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
17	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
18	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
19	／	実習	Music International Project(未定)	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
20	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
21	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
22	／	実習	男性曲 September 女性曲 How Do I Live	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
23	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
24	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
25	／	実習	We are SSM 対策期間 全楽曲の復習・パフォーマンス練習	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
26	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
27	／	実習		Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する	
28	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点、アレンジ定着	
29	／	実習		全パート合同で練習する 楽更点を含む進行案を考えてくる	
30	／	試験	卒業進級展ライブ		
準備学習 時間外学習			各曲の様々なバージョンをYoutube等での閲覧、取り入れ		
【使用教科書・教材・参考書】					
SCA製作譜面、メモ用五線譜、楽器、シールド、チューナー、エフェクター等					

科目名 (英)	オーディション対策1 (Audition Project 1)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	唐澤淳
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間 I 部)						
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエイターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習内容	夢というものから、自分の目指す「目標点」を見つけ、そこに到達するための「計画」を立て、必要なミッションを遂行するという流れを習慣化し、結果を残すことを目指す。一般的な事例も学びながら、日々の中で計画の練り直しや、目標点の再確認などを、各個人のケースに合わせて進めます。						
到達目標	各自が定めた目標における計画の中で、遂行率に対して80%以上を目指す。						
評価方法及び基準	1. 実技試験(%) : 0% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	授業の概要説明と目標設定の仕方を学ぶ	自分の目標地点を明確に探す
2	／	実習	プロジェクト ミーティングを行う	各自見せたいパフォーマンスを考え、グループを組織する
3	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
4	／	実習	プロジェクト 模擬発表を行う	MCや演出を含めたパフォーマンスを考える
5	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめる
6	／	実習	計画表作成・スキルチェックを行う	各自、達成度合いの確認方法を明確にしておく
7	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	アーティスト写真・プロフィールシートの制作方法を学び実践する
8	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	デモ音源を制作の制作方法を学び実践する
9	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	Youtubeなどの映像コンテンツの制作方法を学び実践する
10	／	実習	オーディション対策 面接作法を学ぶ	各種オーディションに応じた挨拶・言葉遣い・立ち方・歩き方・質疑応答の常套句を身に付ける
11	／	実習	オーディション対策 面接作法を学ぶ	各種オーディションに応じた挨拶・言葉遣い・立ち方・歩き方・質疑応答の常套句を身に付ける
12	／	実習	オーディション対策 パフォーマンス指導	演奏だけでなく、客席・審査員に向けたパフォーマンスを意識してステージで演奏・演技する
13	／	実習	オーディション対策 パフォーマンス指導	パフォーマンス環境でも平常心で力を発揮できるように、モニター環境や持ち時間などをオミットして演奏・演技する
14	／	実習	計画表作成・スキルチェックを行う	各自、達成度合いの確認方法を明確にしておく
15	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめる
16	／	実習	プロジェクト ミーティングを行う	企業課題背景あることを認識し、コンセプトとミッションを明確にして役割を担う
17	／	実習	プロジェクト スキルチェックを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
18	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
19	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
20	／	実習	プロジェクト 合同リハを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
21	／	実習	プロジェクト 外部ホールリハを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
22	／	実習	プロジェクト 外部ホールゲネプロを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
23	／	実習	プロジェクト 外部ホール本番を行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
24	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめる
25	／	実習	Weareプロジェクト 計画チェックを行う	ユニットごとのミーティング
26	／	実習	Weareプロジェクト 資料制作を行う	パフォーマンスの具体的な演出を決定
27	／	実習	Weareプロジェクト リハーサルを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
28	／	実習	Weareプロジェクト リハーサルを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
29	／	実習	Weareプロジェクト ゲネプロを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
16	／	実習	Weareプロジェクト 本番を行う	企業や業界関係者に見せる事を意識して
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
必要に応じてプリント配布				

科目名 (英)	オーディション対策2 (Audition Project 2)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	唐澤淳
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエイターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習内容	夢というものから、自分の目指す「目標点」を見つけ、そこに到達するための「計画」を立て、必要なミッションを遂行するという流れを習慣化し、結果を残すことを目指す。一般的な事例も学びながら、日々の中で計画の練り直しや、目標点の再確認などを、各個人のケースに合わせてながら進めます。						
到達目標	各自が定めた目標における計画の中で、遂行率に対して80%以上を目指す。						
評価方法及び基準	1. 実技試験(%) : 0% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	授業の概要説明と目標設定の仕方を学ぶ	自分の目標地点を明確に探す
2	／	実習	プロジェクト ミーティングを行う	各自見せたいパフォーマンスを考え、グループを組織する
3	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
4	／	実習	プロジェクト 模擬発表を行う	MCや演出を含めたパフォーマンスを考える
5	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめてくる
6	／	実習	計画表作成・スキルチェックを行う	各自、達成度合いの確認方法を明確にしておく
7	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	アーティスト写真・プロフィールシートの制作方法を学び実践する
8	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	デモ音源を制作の制作方法を学び実践する
9	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	Youtubeなどの映像コンテンツの制作方法を学び実践する
10	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
11	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
12	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
13	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
14	／	実習	計画表作成・スキルチェックを行う	各自、達成度合いの確認方法を明確にしておく
15	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめてくる
16	／	実習	プロジェクト ミーティングを行う	企業課題背あることを認識し、コンセプトとミッションを明確にして役割を担う
17	／	実習	プロジェクト スキルチェックを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
18	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
19	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
20	／	実習	プロジェクト 合同リハを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
21	／	実習	プロジェクト 外部ホールリハを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
22	／	実習	プロジェクト 外部ホールゲネプロを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
23	／	実習	プロジェクト 外部ホール本番を行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
24	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめてくる
25	／	実習	We areプロジェクト 計画チェックを行う	ユニットごとのミーティング
26	／	実習	We areプロジェクト 資料制作を行う	パフォーマンスの具体的な演出を決定
27	／	実習	We areプロジェクト リハーサルを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
28	／	実習	We areプロジェクト リハーサルを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
29	／	実習	We areプロジェクト ゲネプロを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
16	／	実習	We areプロジェクト 本番を行う	企業や業界関係者に見せる事を意識して
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
必要に応じてプリント配布				

科目名 (英)	デビューコンテンツ制作1 (Debut Project1)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	中村 結花
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供やCM音楽などの制作に携わっている						
授業の学習内 容	コンピューターを使用し、MIDIデータおよびAudioデータの作成のノウハウを習得する。						
到達目標	Cubaseを使いMIDIおよびAudioデータを作成できるようになる。 学習した内容で簡易なオリジナル楽曲を制作できるようになる。						
評価方法と基準	授業内評価40% 定期試験 30% データ提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	外部・内部・機材の説明を行う	説明内容の理解・復習
2	／	実習	MIDIデータを作成する①	ドラムのプログラミング
3	／	実習	MIDIデータを作成する②	ベースのプログラミング
4	／	実習	MIDIデータを作成する③	ピアノのプログラミング
5	／	実習	MIDIデータを作成する④	ギターのプログラミング
6	／	実習	MIDIデータを作成する⑤	ストリングスのプログラミング
7	／	実習	MIDIデータを作成する⑥	オルガンのプログラミング
8	／	実習	MIDIデータを作成する⑦	ブラスのプログラミング
9	／	実習	MIDIデータを作成する⑧	パーカッションのプログラミング
10	／	試験		
11	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する①	8ビートROCK
12	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する②	16ビートROCK
13	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する③	8ビートPOP
14	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する④	16ビートPOP
15	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する⑤	3連符、6連符
16	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する⑥	EDM①
17	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する⑦	EDM②
18	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する⑧	JAZZ①
19	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する⑨	JAZZ②
20	／	実習	MIDIデータ・Audioデータを作成する⑩	JAZZ③
21	／	試験		
22	／	実習	ワークショップ・課題を提示する	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
23	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
24	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
25	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
26	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
27	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
28	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
29	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
30	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	デビューコンテンツ制作2 (Debut Project2)		必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	中村 結花
	学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	129 4	開講区分	通年 金曜
教員の略歴		アーティストへの楽曲提供やCM音楽などの制作に携わっている						
授業の学習内 容		コンピューターを使用し、MIDIデータおよびAudioデータを駆使してプロモーション音源を多数制作する。						
到達目標		オリジナル作品を様々なパターンで作成し、進路活動に活用する。 制作する作品が業界基準のアレンジ、音質に上げられるレベルを目指す。						
評価方法と基準		授業内評価40% 定期試験 30% データ提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	外部・内部・機材を説明する	説明内容の理解・復習
2	／	実習	ワークショップ・課題を提示する	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
3	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
4	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
5	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
6	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
7	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
8	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
9	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
10	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
11	／	試験		
12	／	実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
13	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
14	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
15	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
16	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
17	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
18	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
19	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
20	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
21	／	試験		
22	／	実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
23	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
24	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
25	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
26	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
27	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
28	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
29	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
30	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	舞台機構 (Stage Organization)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	佐藤晃彦
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する。						
授業の学習内容	現在コンサート業界では、音響、照明、舞台から客席図などまで殆どの場面でCAD「Vectorworks」を使用して図面を作成する。その操作を覚え、即戦力としてのスキルを身につける。						
到達目標	2Dによる図形の作成を覚え、舞台平面図を作成出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、実習課題提出 30% 2D図形の描画、用紙の設定、レイヤーの活用						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	なぜCADを学ぶのか、CADソフトを紹介、コンピューター教室のルールを説明する	VectorWorksガイドブックをダウンロードしておく
2	／	講義 演習	基本操作/画面説明、用語説明、簡単な図形を描く	基本操作の復習をする
3	／	講義 演習	図形のサイズ変更、数値による図形作成を行う	様々なサイズ変更を試してみる
4	／	講義 演習	編集、マウスによる編集、スナップの重要性和図形スナップの練習をする	編集作業の復習をする
5	／	講義 演習	面と線の比較(包絡と逆転)をする	編集作業の復習をする
6	／	講義 演習	パッケージを題材に製図をする(面取り、フィレット、ミラー反転複写などを使う)	次週までに課題を作成する
7	／	講義 演習	寸法ツールを操作し入力する	次週までに課題を作成する
8	／	講義 演習	デザインレイヤとクラスの仕組みを学ぶ	編集作業の復習をする
9	／	講義 演習	ハッチング、グラデーション、イメージファイルの使用を学ぶ	編集作業の復習をする
10	／	講義 演習	移動の手法、基準点の使い方、整列コマンドを学ぶ	編集作業の復習をする
11	／	講義 演習	配列複製コマンド、図形を整列させる	編集作業の復習をする
12	／	講義 演習	3Dモデリング(3Dツールの使用)を学ぶ	編集作業の復習をする
13	／	講義 演習	プレゼンテーションボードの作成をする	次週までに課題を作成する
14	／	講義 演習	プレゼンテーションボードの作成をする	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
15	／	試験		
16	／	講義 演習	基本操作をおさらいする	1年時に使用したテキストの見返しをする
17	／	講義 演習	アニメーションを作成する	編集作業の復習をする
18	／	講義 演習	アニメーションを作成する	編集作業の復習をする
19	／	講義 演習	ワークシートとマクロを学ぶ	編集作業の復習をする
20	／	講義 演習	音響機材、照明機材の図面を作成する	次週までに課題を作成する
21	／	講義 演習	音響機材、照明機材の図面を作成する	次週までに課題を作成する
22	／	講義 演習	音響機材、照明機材の図面を作成する	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
23	／	講義 演習	機材図面とワークシートを関連づける	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
24	／	講義 演習	機材図面とワークシートを関連づける	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
25	／	講義 演習	舞台平面図にセット図を入力する	次週までに課題を作成する
26	／	講義 演習	舞台平面図にセット図を入力する	次週までに課題を作成する
27	／	講義 演習	舞台平面図を作成する 学校ホール	実寸を現場で採寸して、次週までに課題を作成する
28	／	講義 演習	客席平面図を作成する 学校ホール	実寸を現場で採寸して、次週までに課題を作成する
29	／	講義 演習	会場平面図を作成する 学校ホール	実寸を現場で採寸して、次週までに課題を作成する
30	／	試験		
準備学習 時間外学習			学習教材の予習、復習	
【使用教科書・教材・参考書】 Vectorworks学習教材2012、都度配布テキスト				

科目名 (英)	進級制作 (Advanced grade production)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	深井 誠
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	2年生のオリジナルアルバム制作のグループメンバーとして制作作業を共同で行う 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	2年目に行う各自の各品制作に向けて、プロセス、スケジュール管理、クオリティチェックなど与えられた期間内に ✓切を意識した作業工程を身につける						
評価方法と基準	1. 授業内評価(%) :50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
必要に応じてプリント配布				

科目名 (英)	卒業制作 (Graduation production)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	深井 誠
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅰ部)						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	作曲クラスとコラボレーションして、業界にリクレーティングをする為のオリジナル作品を各自作成する 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	グループワークで1枚40分以上ある音楽アルバムを作成し、卒業進級展にて業界各企業にプレゼンテーションを行う						
評価方法と基準	1. 授業内評価(%) :50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				